

サイバインコ錠 50mg サイバインコ錠 100mg サイバインコ錠 200mg

【この薬は？】

販売名	サイバインコ錠 50mg CIBINQO Tablets 50mg	サイバインコ錠 100mg CIBINQO Tablets 100mg	サイバインコ錠 200mg CIBINQO Tablets 200mg
一般名	アブロシチニブ Abrocitinib		
含有量 (1錠中)	50mg	100mg	200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アトピー性皮膚炎治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、ヤヌスキナーゼ（JAK）という酵素を阻害することにより、炎症や痛みの発現に関わっている複数の物質に作用し、アトピー性皮膚炎の症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎

- ・ステロイド外用剤やタクロリムス外用剤などによる適切な治療を一定期間受

けても十分な効果が得られず、強い炎症を伴う皮疹が広範囲に及ぶ患者さんに使用されます。

- ・原則として、この薬を使用するときにはアトピー性皮膚炎の部位の状態に応じて抗炎症外用剤が併用されます。
- ・この薬を使用するときにも保湿外用剤が継続使用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 患者さんは以下の点について十分理解できるまで説明を受けてください。理解したことが確認されてから使用が開始されます。
 - ・この薬を使用することで、結核、肺炎、敗血症、ウイルス感染症などを含む重篤な感染症があらわれたり、悪化したりすることがあります。
 - ・この薬との関連性は明らかではありませんが、悪性腫瘍（悪性リンパ腫、固形癌など）があらわれたとの報告があります。また、重篤な副作用があらわれて致命的な経過をたどることがあるので、副作用があらわれた場合には速やかに主治医に連絡してください。
- この薬の使用により致命的な感染症（敗血症、肺炎、真菌感染症を含む日和見感染症など）が報告されています。
- ヤヌスキナーゼ（JAK）という酵素を阻害する薬において、結核〔播種性結核（はしゅせいけっかく）および肺外結核を含む〕が報告されています。すでに結核に感染している人では結核の症状があらわれたり悪くなったりすることがあるので、この薬を使用する前に、結核の感染の有無について確認するために、問診、胸部X線（レントゲン）検査、インターフェロングamma（ガンマ）遊離試験またはツベルクリン反応検査、場合によっては胸部CT検査などを行います。必要に応じて、この薬の使用を開始する前に結核の薬を使用することがあります。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にサイバインコ錠に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・重篤な感染症（敗血症など）の人
 - ・活動性結核の人
 - ・肝臓に重度の障害がある人
 - ・好中球数が $1,000/\text{mm}^3$ 未満の人
 - ・リンパ球数が $500/\text{mm}^3$ 未満の人
 - ・ヘモグロビン値が 8 g/dL 未満の人
 - ・血小板数が $50,000/\text{mm}^3$ 未満の人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・感染症にかかっている人または感染症が疑われる人
 - ・過去に結核にかかったことがある人または結核感染が疑われる人
 - ・B型肝炎ウイルスキャリアの人、または過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがある人（HBs抗原が陰性で、HBc抗体またはHBs抗体が陽性の人）がこの薬を使用すると、B型肝炎ウイルスの再活性化があらわれる可能性がある

ります。このため、この薬を使用する前に血液検査で、B型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを確認されます。

- ・ C型肝炎の人
 - ・ 感染症にかかりやすい状態にある人
 - ・ 静脈血栓塞栓症の危険性がある人
 - ・ 好中球減少、リンパ球減少、ヘモグロビン値減少、または血小板減少がある人
 - ・ 過去に間質性肺炎になったことがある人
 - ・ 腸管憩室（ちょうかんけいしつ）（腸に袋状のくぼみができた状態）がある人
 - ・ 腎臓に中等度または重度の障害がある人
 - ・ 妊娠する可能性のある人
 - ・ 授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬は病気を完治させるものではなく、この薬の使用中也保湿外用剤などを継続使用する必要があることを十分理解できるまで説明を受けてください。理解したことが確認されてから使用されます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人および12歳以上の小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	100mg
飲む回数	1日1回

- ・ あなたの症状などにあわせて200mgを1日1回の使用になることがあります。
- ・ 腎臓に中等度または重度の障害がある人は、50mgを1日1回使用します。腎臓に中等度の障害がある人は、あなたの症状などにあわせて100mgを1日1回の使用になることがあります。
- ・ 強いCYP2C19阻害薬（フルコナゾール、フルボキサミンなど）を使用している人は、50mgを1日1回使用します。あなたの症状などにあわせて100mgを1日1回の使用になることがあります。
- ・ 通常、使い始めてから12週間以内に効果が得られますが、12週間使用しても効果が得られない場合には、使用が中止されることがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

- ・ 決して2回分を一度に飲まないでください。
- ・ 気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ この薬は、免疫反応に関与するヤヌスキナーゼ（JAK）という酵素を阻害するので、感染症にかかりやすくなる可能性があります。発熱、倦怠感（けんたい

かん) などがあらわれた場合には、速やかに主治医に相談してください。

- ・この薬を使用している間は、結核感染に注意するため、定期的に胸部X線検査などの検査が行われます。また、結核が疑われるような症状（持続する咳、発熱など）があらわれた場合には、速やかに主治医に連絡してください。
- ・ヘルペスウイルスを含むウイルスの再活性化（帯状疱疹、単純ヘルペスなど）が報告されています。ヘルペスウイルスなどの再活性化の徴候や症状（小水疱が帯状に生じる発疹、局所の激しい痛み、神経痛など）があらわれた場合には、速やかに受診してください。
- ・B型肝炎ウイルスキャリアの人、または過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがある人は、肝機能検査や肝炎ウイルスマーカーの定期的な検査が行われます。B型肝炎ウイルスの再活性化の徴候や症状（発熱、倦怠感、皮膚や白目が黄色くなる、食欲不振など）があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・この薬を使用している間は生ワクチン〔BCG、麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、麻疹・風疹混合（MR）、水痘（みずぼうそう）、おたふくかぜなど〕の接種はできません。接種の必要がある場合には医師に相談してください。
- ・好中球減少、リンパ球減少、ヘモグロビン減少、血小板減少および脂質検査値異常があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われます。
- ・肝臓に障害があらわれることがあるので、血液検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・妊娠可能な人は、この薬を使用している間および使用終了後一定期間は、適切な避妊を行ってください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

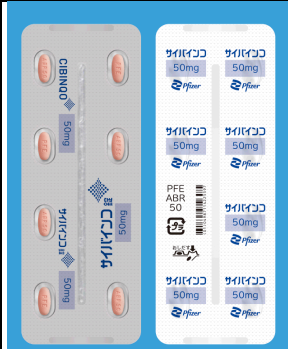
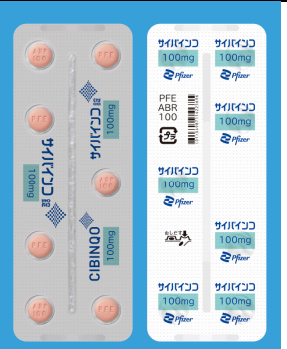
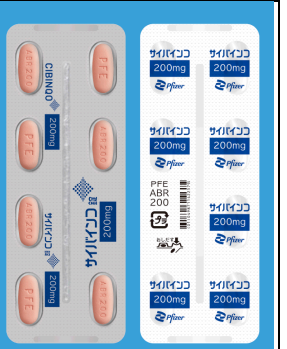
重大な副作用	主な自覚症状
感染症 かんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい
静脈血栓塞栓症 じょうみゃくけっせんそくせんしょう	発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ、下肢の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
ヘモグロビン減少 へもぐろびんげんしょう	体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸（どうき）、息切れ




重大な副作用	主な自覚症状
リンパ球減少 リンパきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
消化管穿孔 しょうかかんせんこう	吐き気、嘔吐（おうと）、寒気、発熱、激しい腹痛、ふらつき、息切れ、意識の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、体がだるい、出血が止まりにくい、突然の高熱、疲れやすい、力が入らない、ふらつき
頭部	めまい、頭痛、意識の低下
顔面	鼻血
耳	耳鳴り
口や喉	唇が青紫色になる、歯ぐきの出血、喉の痛み、咳、吐き気、嘔吐
胸部	動悸、息切れ、息苦しい
腹部	食欲不振、激しい腹痛
手・足	手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ、下肢の痛み
皮膚	皮膚が青紫～暗紫色になる、あおあざができる

【この薬の形は？】

販売名	サイバインコ錠 50mg	サイバインコ錠 100mg	サイバインコ錠 200mg
PTP シート			

販売名	サイバインコ錠 50mg	サイバインコ錠 100mg	サイバインコ錠 200mg
形状	フィルムコート錠 	フィルムコート錠 	フィルムコート錠 
直径	10.5mm	9.0mm	18.4mm
短径	4.8mm	9.0mm	8.0mm
厚さ	3.7mm	4.5mm	5.0mm
色	淡紅色	淡紅色	淡紅色
識別コード	PFE ABR 50	PFE ABR 100	PFE ABR 200

【この薬に含まれているのは？】

販売名	サイバインコ錠 50mg	サイバインコ錠 100mg	サイバインコ錠 200mg
有効成分	アブシチニブ		
添加剤	結晶セルロース、無水リン酸水素カルシウム、デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、乳糖水和物、マクロゴール 4000、トリアセチン、三二酸化鉄		

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社

(<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/>)

製品情報センター（患者さん・一般の方）

電話 : 0120-965-485

FAX : 03-3379-3053

受付時間：月～金 9時～17時30分
(土日祝祭日および弊社休業日を除く)